

立神峡だより

4月から新年度がスタート

昨年4月、新たに指定管理者を受け、早いもので1年が経過しました。昨年度は、施設や吊り橋を始め、長年の整備不良個所の修復や作業に多くの時間と労力を費やしましたが、水難事故は無く、来客数も前年度より大幅な伸びを見せ、スタッフ一同成果があったものと喜んでおります。また、町民の皆さまのご支援ご協力に感謝しております。今年度は、さらに施設整備の充実や水難事故防止に万全を期す所存です。

桜満開の立神峡

立神峡は知る人ぞ知る桜の名所です。園内には所狭しと桜が植えられ、吊り橋やログハウス・ロッジなどの風景にもなじみ、写真撮影には絶好のアングルです。家族やご友人と一緒に、花見やバーベキューなどご利用されてはいかがでしょうか。なお、宿泊予約はお早めにお申し込みをお願いします。

また、昨年植えた芝桜も少しずつ芽を吹きだしています。立神峡を憩いの広場としてご利用ください。吊り橋には氷川町民のご厚意で寄贈された鯉のぼりも大きく泳いでいます。ぜひ、お子さまと一緒に見に来てください。



立神峡公園 スポット紹介 立神熊野座神社

創建は、景行天皇13年8月(743年)で、平家の一族が社殿を造営した。その後、應長元年(1311年)と建武2年5月(1335年)に名和伯耆太夫判官が社殿の改築を行い、文久2年(1862年)に氏子により、神殿と拝殿の修復がなされ、現在に至っている。

また「速玉男神」は和歌山県にある熊野三山の一つである熊野速玉大社の御祭神で、五穀豊穡と山の守り神である。「伊弉丹神」は、日本国土と人々を生成された、イザナギ・イザナミ二柱の女神様の方で、家内安全・夫婦和合・縁結びの神である。「事解男神」は、イザナギ・イザナミの御子で、知識豊かな学問の神である。以上のように由緒正しき古宮であり、古くから秋の大祭には、前夜と当日に稚児神楽(ちごかくら)が奉納されています。

立神熊野座神社 氷川町立神974番地

祭神 速玉男神(はやたまおのかみ)
伊弉丹神(いざなみのかみ)
事解男神(ことさかおのかみ)
御社殿 流造 12坪9合6勺(本殿・幣殿・拝殿)
境内地 129坪4合8勺
祭日 夏祭 7月9日
秋祭 10月9日由緒



お問い合わせ・お申し込み先：立神峡公園管理棟
☎62-1543 FAX62-1546 (8:30~17:30 火曜定休日)

ホームページアドレス
<http://tategami-camp.com/>

町民文芸

短歌

- 狭き道手前によけて譲りしを
素知らぬ顔で過ぎゆく車
北野津 宮本 末秋
- さくら咲く小鳥の声も染しめて
友と遊びつつ枝渡りあう
高塚 桑原ゆき代
- 美しき寝顔を見せて突然に
友旅立てり黄泉の国へと
吉本 高橋 澄子
- 洋風の洒落たお店に連れられて
フォークナイフオーロラソノ
西野津 古崎スエノ
- 白銀の中に生きづく福寿草
我に送りし生のパワーを
南鹿野 尾崎 京子
- 如月は小走りに去り待ちわびし
春の気配に弾む心よ
吉本 橋村 正之
- 梅の香の漂ふ裏庭眺むれど
木の芽風吹く類ななる
西野津 古崎 栄子
- 朝日さす生死は常に今にあり
感謝で生きるこの一瞬を
桜ヶ丘 宮崎敬四郎

俳句

- 三月の雪の残れる高岳を
見つつ興ずるグラウンドゴルフ
西上宮 村内 一誠
- 今生る朝の光りに力借り
月の灯りで心癒して
上鹿島 前村 俊子
- グラウンドに笑顔の出会い春の夢
北野津 宮本 末秋
- しゃみせんに合せて歌う友達と
高塚 桑原ゆき代
- 寒風に晒され無残廃屋は
吉本 高橋 澄子
- 桜咲くいつもの道の華やかに
西野津 古崎スエノ
- 祖父の笑顔孫娘より届くバレンチヨコ
南鹿野 尾崎 京子
- ねころんで目薬差したる山笑ふ
西野津 古崎 栄子
- ゆつくりと回る風車や春の旅
町 香山菊童子
- 真つ青な空飛びまわる燕かな
町 香山セツ子
- 和をもって自他のふれ合う春座敷
桜ヶ丘 宮崎敬四郎
- 追悼の涙こぼるる春夕焼
桜ヶ丘 吉田 照子
- 友来たり語りつくせぬ春おぼろ
町 田中 澄子

- 花辛夷暫し見惚れて去りがたし
桜ヶ丘 宮崎トシ子
- 屈託のなき友と飲む春の宵
西上宮 村内 一誠
- 空仰ぎ笑顔見せてる肥後橋
上鹿島 前村 俊子
- 甲子園は遠かった
吉本 橋村 正之

只ひたすらにひたむきに
流した汗が染みている
砂も知つる目指すのは
高校球児あこがれの
浜風が呼ぶ甲子園
県体会の下馬評も
五指に折られる有力校
周囲の期待も大きくて
応えんものと気負い過ぎ
普段の野球どこえやら
あそこへ本出ていたら
言つたところで何になる
時計の針は戻らない
厳しい現実受け止めて
またあしたから出直した
絶ゆる事なきスタンドの
熱き声援受けながら
夢は破れた甲子園
首うなだれて肩落とす
球場を去る此の無念

投稿いただいた作品は、短歌・俳句それぞれ一句とします。必要な場合は、ルビを付けてください。
また、確認のためお電話することもありますので、連絡先の記入をお願いします。

空き家バンクへの登録をご検討ください

「空き家バンク」は、町内の賃貸・売却できる空き家を「空き家バンク」に登録していただき、その物件の情報を、町への移住を希望される人や住居をお探しの人へ、町のホームページなどを利用して提供する仕組みです。

空き家バンクに登録すると

- こんなメリットがあります！
- ①空き家に人が入ることで、空き家の管理をする必要がなくなる
- ②家賃・売却収入が発生する
- ③使っていない空き家に人が入ることによって町の活性化に役立つ

空き家バンク登録から契約までのながれ

- ①登録申込書を提出していただいた後、担当職員が現地調査に伺い、物件の様子や間取りなどを確認します。
- ②登録された情報を町のホームページに掲載します。物件の所在地や間取り、設備などを写真も含めて掲載します。
- ③交渉契約に町は直接関与せず、当事者間で行っていただきます。宅建業者の仲介を希望される場合は、町内業者をご紹介します。

お問い合わせ先：総務振興課 まちづくり推進係 ☎62-2317(直通)